

令和6年度 益子町立田野小学校 学校評価書

1 教育目標

教育指標「明るく生き生きとした、児童が主役の田野小学校」					
健康で明るい子ども	(健康)	よく考えて学習する子ども	(向学)		
仲よく思いやりのある子ども	(友愛)	進んで正しいことをする子ども	(誠実)		

2 学校経営の方針

<p>教育目標の具現化と知・徳・体の調和の取れた人間形成を目指す。</p> <p>(1) 心身共に健康でたくましく、情操豊かな児童の育成に努める。</p> <p>(2) 基礎・基本の確実な定着と、個性と意欲を尊重した教育の実践に努める。</p> <p>(3) 人間尊重と思いやりの心を基盤に、生き生きとした学校生活の実現を図る。</p> <p>(4) 教職員としての使命感と教育愛に燃え、経営参画意識をもった集団を目指す。</p> <p>(5) 学校・家庭・地域社会と連携し、地域とともにある学校づくりを推進する。</p>

3 今年度の重点目標

<p>(1) 健康な生活習慣と体づくりの推進</p> <p>・教科体育の充実 ・基礎基本的生活習慣の定着 (あいさつ、集まり、後始末) ・食育指導の工夫 ・交通安全、生活安全の徹底</p> <p>(2) 学習習慣の定着及び学習意欲の高揚に基づく確かな学力の向上</p> <p>・基本的学習態度、授業指導の徹底 ・個別最適化を目指す指導法の工夫 ・I C T機器の効果的活用</p> <p>・話し合い活動の工夫 ・道徳授業との関連</p> <p>(3) 豊か(良好)な人間関係を育てる心の教育の充実</p> <p>・基本的生活習慣の徹底 ・教育相談の充実、チームによる支援体制 ・豊かな人間関係の醸成</p> <p>・読書活動の充実 ・粘り強さ、根気よく取り組む姿勢</p> <p>(4) 資質の向上を目指した職員研修の充実</p> <p>・校内研修の充実、授業研究会の工夫 ・同僚性の醸成、現職教育の充実 ・O J Tによる若手教員の育成</p> <p>・相互授業参観による研鑽 ・適切な業務時間の執行</p> <p>(5) 地域に根ざした教育の充実及び幼保中との連携の推進</p> <p>・総合的な学習(きょうめい)発表会、ふるさと教育の充実 ・学校支援ボランティアの推進</p> <p>・コミュニティスクール(学校運営協議会)の活性化 ・保護者会、P T A各種会議の充実</p> <p>・学校だより、HPによる教育活動の発信</p>

4 評価表

A：十分達成（80％以上） B：おおむね達成（50～79％）
C：どちらかというと達成できていない（49～21％） D：ほとんど達成できていない（20％以下）

項目	評価指標	主な具体的評価指標		自己評価		学校関係者評価	
				評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)課題(▲)意見(・)
教育課程	<p>・教育課程の適切な実施の下に、学校は明るい雰囲気、児童生徒は生き生きと生活している。</p> <p>・教職員は、責任をもって意欲的に仕事に取り組んでいる。</p>	①児童生徒や学校の実態、保護者や地域の意見や要望等を踏まえ、学校としての教育目標等を適切に設定している。		A	【達成状況】 ・児童や地域の実態を考慮し、学校の経営方針・具体策を設定し、あいさつ、あつまり、あとしまつのキーワードにより、全職員で共通理解のもと、教育活動に取り組むことができた。	A	○運動会では、5、6年生は、テントの中で、3、4年生のソーランでは一緒に踊っていたり、1、2年生のダンスでは、手拍子をしたりして盛り上げていた。5、6年生のこのような行動は、下学年の面倒をみるという態度にもなってくる。ふれあい班の活動を日常的に実施している成果と思われる。今後も伝統としていってほしい。
		②学校の教育課程の編成・実施の考え方について教職員間の共通理解を図っている。		B	【達成状況】 ・職員間の共通理解を図り教育課程を適切に実施することができた。 ・さらに校務分掌内での協力体制を図り、組織力を高めていく。		
		③教育課程の実施に必要な各教科等ごとの年間指導計画、評価計画や週案等を適切に作成している。		B	【達成状況】 ・教育課程の実施に必要な年間指導計画を作成している。週案により、授業時数を定期的に確認し、時数を確保することができた。 ・年間指導計画の自校化を進めていく必要がある。		
		④全教育活動を通しての道徳教育や学校行事などの特別活動を適切に実施している。		A	【達成状況】 ・全教育活動を通して道徳教育の実践に努めた。学校行事については、特に150周年記念大運動会など、内容を工夫しながら効果的に実施することができた。		
	外部アンケート	児童	B	保護者	A		

A：十分達成（８０％以上） B：おおむね達成（５０～７９％）
 C：どちらかというと達成できていない（４９～２１％） D：ほとんど達成できていない（２０％以下）

項目	評価指標	主な具体的の評価指標				自己評価		学校関係者評価	
						評価	達成状況と改善策	評価	成果（○）課題（▲）意見（・）
学習指導	・教職員は、児童生徒に「確かな学力」を身に付けさせるために努力している。	①説明、板書、発問の工夫等を取り入れ、ねらいを明確にした授業を適切に実施している。				B	【達成状況】 ・授業研究会や学力向上改善プラン等を活用し、全校体制で学力向上に取り組んだ。教材研究をする時間を確保し、授業力向上に努めていきたい。	A	○授業参観の様子からは、話し合い活動やグループ活動の際の児童間の距離が近かった。児童一人一人が話し合う目的を理解し、真剣にやっている証拠であり、すばらしい。また、低学年でも、先生の方を見て、よく話を聞いている姿が見られた。 △児童、保護者アンケートをみると、読書が苦手と感じられる。 ・教職員からの自己評価は遠慮がちだが、学習指導、読書指導など、さまざまな取り組みを行っている。 ・高学年ほど、発表に消極的になる傾向があると思われる。引き続き、表現力の向上への取り組みをしていってもらいたい。
		②個別指導やグループ別指導、習熟度に応じた指導、補充的な学習や発展的な学習、教師の協力的な指導等の個に応じた指導を適切に実施している。				A	【達成状況】 ・算数の授業を中心に、T・Tを実施したことにより、理解が十分でない児童に対して、授業中に個別的な指導を行うことができた。 ・授業者とT・Tの連携を強化し、さらに効果的な指導・支援に努めたい。		
		③自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え自己の生き方についての考えを深める授業を展開している。				B	【達成状況】 ・多様な指導法を工夫し授業が展開できるよう、校内研修を実施した。ICTの効果的な活用や児童の協働を意識した授業に、引き続き取り組んでいきたい。		
		④話し合い活動等を取り入れた学級活動を展開している。				B	【達成状況】 ・ペア学習やグループ学習等を積極的に取り入れ、充実した話し合い活動が多くの子でできた。より話し合いが深まるよう取り組んでいきたい。		
		⑤各教科等で身に付けた知識や技能等との関連を図った総合的な学習の時間を展開している。				B	【達成状況】 ・総合的な学習の時間では、各教科との関連を図りながら、学年ごとの課題に取り組むことができた。		
	外部アンケート	児童	A	保護者	B				
児童（生徒）指導	・教職員は、児童生徒が希望や目標をもって生活し、好ましい人間関係を醸成し基本的なモラルや生活している。	①全教職員の共通理解の下に、指導体制が整備されている。				A	【達成状況】 ・関係機関とも連携し、チームでの指導体制が整備できている。全職員が共通理解する機会を定期的に設定し、指導にあたることができた。	A	○下駄箱の靴がそろっている。特に上学年が下学年のよい手本となっているので、当たり前前のことが、当たり前前にできている。
		②規範意識や基本的な生活習慣を身に付けさせる指導を適切にしている。				A	【達成状況】 ・あいさつ、時間を守ること、廊下歩行等について全職員で意識して指導にあたってきた。引き続き粘り強く指導にあたっていく。		
		③共通理解に基づいて、問題行動等に適切に対応している。				A	【達成状況】 ・問題行動については、全校体制で迅速に対処してきた。支援の方法についても、職員間で共通理解を図り、指導にあたった。		
		④教育相談を定期的に行い児童生徒理解に努めている。				A	【達成状況】 ・友達調査、WEB-QUテスト等を生かし、教育相談週間等の時間も設け、児童理解に努めた。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも連携し、児童一人一人からよく話を聞いて対処してきた。		
	外部アンケート	児童	A	保護者	B	・田野小はあいさつができる子が多いので、個の取組をこのままずっと続けてもらいたい。			

A：十分達成（８０％以上） B：おおむね達成（５０～７９％）
 C：どちらかというと達成できていない（４９～２１％） D：ほとんど達成できていない（２０％以下）

項目	評価指標	主な具体的評価指標					自己評価		学校関係者評価	
							評価	達成状況と改善策	評価	成果（○）課題（▲）意見（・）
人権教育	・教職員は、一人一人を大切に、児童生徒が互いのよさを認め合い人権を尊重し合う望ましい人間関係を育成している。	①人権意識の高揚を図り、教育計画への適切な位置付けを図っている。					A	【達成状況】 ・毎学期のはじめに人権週間を設定した。言葉遣い等の振り返りをしたり、人権標語を作成したり、人権に関する本の読み聞かせをしたりすることで、意識の高揚を図ることができた。	A	○運動会での、5、6年生の応援する態度を冷やかな目で見ている子がいなかった。自分のやりたいことが素直にできるという一人一人を認められる環境ができており、人権意識が育っていると感じた。
	②各教科等の特質に応じて、「育みたい資質・能力」の育成に努めている。					B	【達成状況】 ・各教科等の指導計画の中に人権教育との関連を位置付けて指導した。			
③教職員自らの人権感覚を磨く校内研修を継続的にしている。					A	【達成状況】 ・人権教育研修を実施し、教職員の人権感覚の向上を図ることができた。				
	外部アンケート	児童	A	保護者	A	・安心して穏やかに学校生活が送れ、子ども達が相手を尊重し思いやる気持ちをもてるよう、今後も指導してほしい。				
特別支援教育	・教職員は、一人一人の教育的ニーズを把握し適切な教育的支援を行っている。	①全職員の共通理解の下に校内支援体制を適切に整備している。					A	【達成状況】 ・支援の必要な児童の共通理解を全職員で定期的に図った。迅速かつ柔軟に校内支援体制を活用し支援を行ってきた。	A	○多くの教員が特別支援学級の児童に関わったり、個別の状況に合わせた柔軟な対応をしたりと、十分取り組んでいる。
	②個別の指導計画を適切に作成している。					B	【達成状況】 ・保護者と連携をし、個別の指導計画を作成し、それに沿って指導にあたることができた。			
③医療、福祉など関係機関等との連携を適切に図っている。					A	【達成状況】 ・教育委員会をはじめスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等、関係諸機関と連携しながら支援をすることができた。				
	外部アンケート	児童		保護者						
保健管理	・学校は、児童生徒及び教職員の健康の保持増進に努めている。	①児童を対象とする保健（薬物乱用防止、心のケア等を含む）に関する体制を整備している。					A	【達成状況】 ・保健や安全に対する指導計画や指導体制を整え、年間指導計画に位置付け適切に実施することができた。	A	○学校歯科医による歯みがき指導、清潔検査、学校保健委員会をはじめ、児童の健康の保持増進に関わる活動をよくやっている。
	②日常の健康観察や、疾病予防、児童の自己健康管理能力向上のための取組を適切に実施している。					A	【達成状況】 ・児童の健康安全のために保健主事が中心となり、全職員で取り組み対応できた。			
③健康診断を適切に実施し事後措置の徹底を図っている。					A	【達成状況】 ・健康診断を適切に実施し、結果を速やかに保護者に伝えるとともに、担任と養護教諭が連携し、事後指導と啓発にあたることができた。				
	外部アンケート	児童	A	保護者	A	・健康面については、個別的に対応をしてもらえてありがたかった。				

A：十分達成（８０％以上） B：おおむね達成（５０～７９％）
 C：どちらかというと達成できていない（４９～２１％） D：ほとんど達成できていない（２０％以下）

項目	評価指標	主な具体的の評価指標				自己評価		学校関係者評価	
						評価	達成状況と改善策	評価	成果（○）課題（▲）意見（・）
安全管理	・学校は、安全・安心な環境の確保に努めている。	①学校事故等の緊急時に適切な対応ができるよう、危機管理マニュアル等作成・活用している。				A	【達成状況】 ・危機管理マニュアルの見直しや内容の追加を適宜行い、活用することができた。また、教職員の共通理解も行った。	A	○危機管理マニュアルの見直し、交通指導、避難訓練、引き渡し訓練、教職員の研修、登下校時の安全確保等、安全・安心な環境の確保に関する取り組みを十分行っている。
		②学校徴収金の経理は適切であったか。				A	【達成状況】 ・定期的に確認をすることで、適正に学校徴収金の処理を行うことができた。また、会計処理が簡明になるよう改善を図った。		
③安全点検（通学路を含む）を組織的、計画的に実施し、危険を防止するための措置を講じている。				A	【達成状況】 ・安全点検は毎月実施し、不備があったところは迅速に対応することができた。正門付近の登下校時間帯の安全を確保するための改善を図った。				
④防犯・防災に関する訓練等を適切に実施し、教職員及び児童生徒の安全対応能力の向上に努めている。				A	【達成状況】 ・火災等の避難訓練、小中合同の引き渡し訓練、不審者に対する職員研修等を実施し、安全対応能力を高めることができた。				
	外部アンケート	児童	A	保護者	A	・通学路の安全確保については、迅速に対応してくれて大変有り難かった。 ・車での子供の送迎については、再度検討してほしい。南門を使用するのは道幅も狭く児童が通学する為、危険が多すぎる。車同士ぶつかりそうになったり児童にミラーが当たりそうになったりした。			
情報提供	・学校は、開かれた学校を目指し、進んで情報の公開をしている。	①学校に関する様々な情報が、保護者や地域住民に、十分にわかりやすい内容で、かつ適切な分量を提供している。				A	【達成状況】 ・ホームページや学校・学年だよりなど各種のたより等を通じて、保護者や地域の方々を知っていただいている。緊急時等には、迅速に一斉メールを配信して周知することができた。	A	・今後も適宜情報の提供をお願いしたい。
		②学校だよりや学年だよりの発行・ホームページの公開等を行い、情報の伝達・公開を適切に行っている。				A	【達成状況】 ・各種のたよりやホームページにより、学校の様子が分かるようにし、ホームページはほぼ毎日更新した。引き続き、内容の充実に努めたい。		
		外部アンケート	児童	A	保護者	A	・準備物は早めに知らせて欲しい。（運動会で使用するTシャツ等）		
保護者・地域住民等との連携	・学校は様々な教育活動において、保護者や地域住民の意見や協力を得ようとしている。	①地域住民から寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。				B	【達成状況】 ・行事の実施反省やアンケートなどからの意見や要望を誠実に受け止め、迅速な改善に努めた。	A	○学校支援ボランティアをさらに有効に活用できるようにしていくという課題はあるが、外部人材の活用や関係機関の連携も図っており、取り組みはできている。
		②保護者や地域住民の授業参観や学校行事への参加の機会を積極的に取り入れている。				A	【達成状況】 ・授業参観や家庭教育学級、学校行事（運動会、持久走大会等）により、参加の機会を設け、工夫して実施できた。		
		③授業や学校行事等に地域の人材など外部人材を活用している。				A	【達成状況】 ・読み聞かせボランティア、消防団との学習会、校外学習や総合的な学習の時間の講師等、地域人材を活用した学習活動を行うことができた。		
		④家庭や地域との関係機関、団体との連携を図っている。				B	【達成状況】 ・行事や授業において、保護者や関係機関と協力した取り組みを実施し、連携を図ることができた。特に今年度は、創立150周年記念事業に関する取り組みを実施できた。		
		外部アンケート	児童	B	保護者	A	・今年の奉仕作業は暑い季節でなくてよかった。子ども達も楽しく作業していた。		

A：十分達成（８０％以上） B：おおむね達成（５０～７９％）
 C：どちらかというと達成できていない（４９～２１％） D：ほとんど達成できていない（２０％以下）

項目	評価指標	主な具体的評価指標					自己評価		学校関係者評価	
							評価	達成状況と改善策	評価	成果（○）課題（▲）意見（・）
教育環境整備	・設置者と連携して、児童生徒が効果的な学校生活を送れるよう、環境整備に努めている。	①施設・設備を有効に活用している。					B	【達成状況】 ・会議室、生活科室、印刷室を整備するなどし、施設の有効活用に努めることができた。教育委員会と連携し引き続き整備に努めていきたい。	A	○会議室を整備したり、掲示物の工夫をしたりと、施設や備品等の整備や学習環境の充実に取り組んでいる。
		②教材・教具・図書の整備を適切に行っている。					A	【達成状況】 ・特別教室、資料室、図書室等の備品整理を実施し、有効に活用できるようにした。		
		③学習・生活環境の充実のための取組を行っている。					A	【達成状況】 ・学習コーナー、将来の夢のなど各種掲示などの工夫を行った。児童が学習意欲や達成感を喚起できる掲示の工夫に努めていきたい。		
	外部アンケート	児童	A	保護者	A					
働き方改革	・教職員一人一人が、子どもと向き合う業務に集中するために、業務の適正化を図るなど働き方改革に積極的に取り組んでいる。	①働き方改革に対する教職員の意識の向上を図っている。					B	【達成状況】 ・職員の働き方改革の意識の高揚が見られた。組織として協力し合えるよう向上を図りたい。	A	・今後も引き続き働き方改革の推進を図ってほしい。
		②業務改善の推進を図っているか。					B	【達成状況】 ・業務改善のための検討会を実施し、改善できる部分については適宜取り組み、推進を図った。引き続き、改善を進めていく必要がある。		
	外部アンケート	児童		保護者						